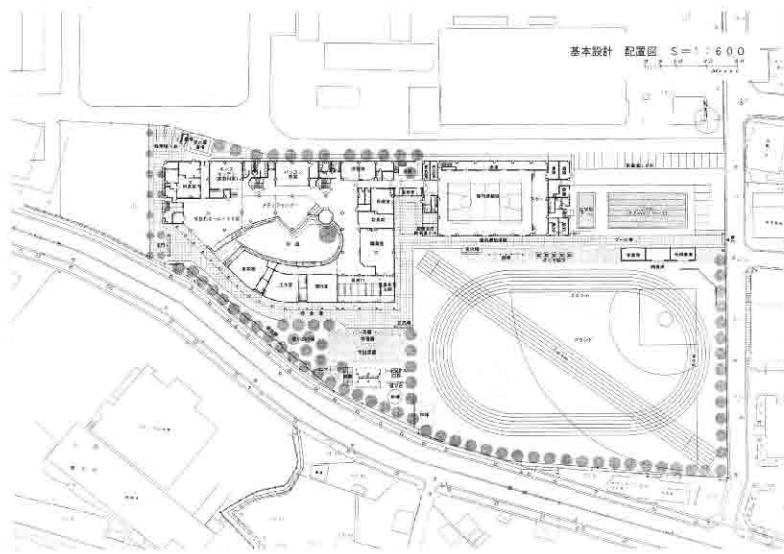


民生文教常任委員会が 所管事務調査を開始

民生文教常任委員会は、3月定例会において、閉会中の所管事務調査※の申し出を行いました。
調査項目は、平成20年4月開校を目指し、18年度から本格的に建設がはじまる小浜小学校の建設計画と、少子化により本格的議論が必要となっている小学校の校区統廃合についての2点とし、次回定例会まで調査することといたしました。



平成18年度から建設に着手する小浜小学校のイメージ図



※これらの図面は現時点の計画であり、実際の完成したものと変わる場合があります。

このような取り組みは本市議会では例のない取り組みであり、小学校建設については、厳しい財政状況の中、巨費を投じる注目の大型事業であり、もう一方の小学校の校区統廃合問題についても、少子化により少人数校の増加が懸念される中、適正な教育環境を考える面から、早期に方向性を考えていかなければならない重要な案件です。
これらの調査結果は、議会だよりを通じても報告いたします。

【ひとくちメモ】

「所管事務調査」とは…

常任委員会は、本来、議会の予備的審査機関として、議会から付託された議案の審査を行い、議会としての判断材料となる結果報告を行うことが主な役割とされています。
このような受動的な面とは別に、自主的にその部門に属する事務の調査を行うことができます。そのことを「所管事務調査」と呼んでいます。
しかし、委員会が活動できる期間としては、議会の内部組織ということから、原則では会期中、いわゆる定例会などの開会から閉会までの間という限られた期間とされていますが、1つの会期中に結論が出せない場合には、次回定例会まで継続して審査することができます。これを「閉会中の継続審査」といい、その手続きを行えば、閉会中でも委員会としての活動ができることとなっております。今回の所管事務調査についてもその手続きを行い、常任委員会として活動することにいたします。

議会日誌

過去3ヶ月のおもな議行事務を掲載します。

【1月】

- 8日 成人式
- 12日 福井県市議会議長会臨時總會
- 26日 全員協議会

【2月】

- 2日 議会運営委員会・全員協議会 第1回臨時会
- 4日 福井市合併記念式典
- 6日 民生委員推薦会
- 7日 議会運営委員会
- 14日 小浜官公署連絡協議会総会
- 16日 広域行政圏市議会協議会
- 17日 小浜市土地開発公社理事会
- 23日 体育振興協議会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 全員協議会

【3月】

- 1日 全員協議会
- 2日 奈良市親善使節団表敬訪問
- お水送り神事
- 6日 第2回定例会開会
- 7日 第2回定例会
- 9日 勢トネル安全祈願祭
- 12日 奈良市二月堂お水取り
- 14日 第2回定例会一般質問（16日まで）
- 16日 各常任委員会審査（17日まで）
- 19日 越前市誕生記念式典
- 22日 小浜市奨学資金貸付選考委員会 第2回定例会閉会
- 24日 若狭農業共同組合通常総代会
- 25日 北信越市議会議長会監査
- 27日 原子力発電所小浜市環境安全協議会
- 29日

【4月】

- 4日 退職教職員感謝状贈呈式・慰労会
- 8日 蘇洞門開き
- 12日 福井県市議会議長会定期總會
- 14日 豊州小浜姉妹都市市長交流団（16日まで）
- 15日 佐久間艇長顕彰祭

対策委員会を設置しました

本市議会では、特定の分野について、常任委員会の枠を越え、様々な角度から検討を行うため、必要に応じて対策委員会を設置しています。
このたび対策委員会の組織を一部見直しましたので、お知らせいたします。(ともに2月2日設置)

—環境安全対策委員会—

10名

委員長	小堂 清之
副委員長	藤田 善平
委員	上野 精一
//	清水 正信
//	池尾 正彦
//	風呂 繁昭
//	宮崎 治宇蔵
//	深谷 嘉勝
//	山口 貞夫
//	山崎 勝義

〈主な協議テーマ〉

- ①廃棄物行政関係
(ごみの分別収集の現状、減量効果と今後の方向性など)
- ②原子力行政関係
(有事の際の連絡体制など)
- ③一般防災関係
(自然災害時における初動体制連絡体制についてなど)

—総合交通対策委員会—

10名

委員長	垣本 正直
副委員長	下中 雅之
委員	三木 尚
//	井上 万治郎
//	池田 英之
//	富永 芳夫
//	水尾 源二
//	石野 保
//	西本 正俊
//	木橋 正昭

〈主な協議テーマ〉

- ①鉄道関係
(琵琶湖若狭湾快速鉄道・北陸新幹線・JR小浜線など)
- ②道路関係
(舞鶴若狭自動車道・国道162号・若狭西街道など)
- ③その他
(あいあいバス運行など)

行政視察の受入れ状況

いま、全国自治体から「食」を中心とした本市の取り組みが注目を浴びています。

国が昨年6月に「食育基本法」を制定し、本格的に「食」を通じた教育を推進していますが、それに先駆けて「食」を中心としたまちづくりを推し進め、幼児から高齢者までの「生涯食育」を確立した本市の取り組みが全国的にも評価されています。その表れとして、全国各地からの行政視察があり、平成17年度では、県議会を含む47団体の受入れをいたしました。

議会運営の関係も含め、平成17年度中に受入れたりました行政視察の状況は次のとおりです。

◎受入れ者数:47市町285名

うち市内宿泊31市町(66%)

◎主な視察内容

- ・一問一答、対面式の一般質問
- ・食のまちづくりについて
- ・食育について

来市いただきました皆様
ありがとうございました。

広報委員会の行政視察報告

このほど、広報委員会が管外行政視察をいたしましたので、その概要を報告いたします。

〈視察期日〉

平成18年2月8日(水)～9日(木)

〈視察先〉

- ①石川県羽咋市議会
インターネットによる議会中継および録画配信について
- ②石川県七尾市議会
インターネット議会中継について



本会議や委員会の会議風景をインターネットを活用して中継し、また後日録画した会議風景を見ることが出来るシステム導入について、それぞれの導入経過や利用状況、費用対効果などについて説明をいただいた。

この地域でのCATVの普及が遅れていることもこれらに取組んでいる大きな要因となっているが、会議に市民が合わせる方法でなく、インターネットを利用することで、見たいときに見れるという会議の公開方法は画期的な手法と感じました。

編集後記

◎予想外の大雪となった季節もようやく暖かさが戻り、木々の彩りが美しくなっております。

さて、春は入学や就職など、人生の大きな節目を迎える方も多いこの季節ですが、自治体も4月から新年度が始まりました。

3月定例会で可決した平成18年度は、小浜小学校とリサイクルプラザの2大事業の建設が始まることから、大型予算となりました。

しかし歳入面で見ると、三位一体の改革により、補助金や地方交付税の見直しが行われた影響で、自治体の財政は一層厳しい状況になっております。ますます公平、適正な「税金」の使い方が求められており、それらをチェックする私たち地方議会の責任が重くなっております。

今後とも皆様のご期待に添えるよう鋭意努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

〈広報委員会〉
委員長
副委員長
委員

深谷 嘉勝
下中 雅之
垣本 正直
清水 正信
池尾 正彦
水尾 源二
西本 正俊

